

海外引揚70周年記念事業で公演 音楽劇「君よ生きて」

舞鶴を舞台にしたシベリア抑留と引き揚げをテーマとした音楽劇「君よ生きて」(望月龍平シアターカンパニー)の公演を7月4日・5日、総合文化会館で開催しました。4回公演はいずれも完売。劇は、現代の若者が亡くなったはずの曾祖父と舞鶴で出会い、時空を超えてシベリア抑留を体験。家族の絆や命の尊さなどに気付いていく物語。創作には取材などで全面協力しました。劇中では、世界記憶遺産の取り組みなども表現されています。

公演期間中、出演者やスタッフの皆さんは、主催の交流会やワークショップ、引揚記念館での資料の見学や語り部への聞き取り、抑留体験談など地元の方々と交流されました。また、大浦小学校児童の観劇のほか舞鶴高専学生会の皆さんがボランティアとして公演に参加。3日には日星高校の皆さんが観劇するなど公演を通じて若い世代も関心を高めるきっかけとなりました。



都市計画見直し基本方針を策定 新たな都市計画制度の策定に向けて

市では、新たな都市計画制度の策定に向け、「舞鶴市都市計画見直し基本方針」を策定しました。策定にあたっては、昨年度から都市計画見直し基本方針検討会で検討してきた基本方針(案)に、市パブリック・コメント手続制度(市民意見提出制度)により意見をいただきました。

今後、同方針をもとに「新たな都市計画制度検討会」を設置し、次世代が心豊かに暮らせる持続可能な都市計画制度を構築していきます。

パブリック・コメント手続き制度の結果

方針(案)に対し、市パブリック・コメント手続制度に基づいて意見を募集した結果、1人から5件の提出がありました(募集期間は6月2日～30日)。寄せられた意見は、市の考え方を説明し、ご理解いただくものが5件でした。

《閲覧できます》

基本方針の内容や市パブリック・コメント手続制度の結果は、都市計画課で閲覧できます。市ホームページにも掲載。

▶詳しくは、都市計画課(☎66・1048)へ。

舞鶴茶 今年も日本一を目指して 品評会への出品結果

《両丹茶品評会(6月25日)》

◆玉露の部

- ◆2等…河田勝臣氏、瀧本浩文氏
- ◆3等…増茂義郎氏、菱田繁政氏
(いずれも舞鶴茶生産組合岡田下支部)

◆機械摘み玉露の部

- ◆2等…鈴木光男氏(同生産組合岡田下支部)
大石貴文氏(同生産組合薬師口支部)

◆碾茶の部

- ◆1等…南範男氏
- ◆2等…村上静夫氏、植和田英子氏、増茂義郎氏
- ◆3等…河田勝臣氏、瀧本浩文氏
(いずれも舞鶴茶生産組合碾茶加工部)

《京都府茶品評会(7月7日～8日)》

◆かぶせ茶の部

- ◆2等…瀧本浩文氏、南範男氏
- ◆3等…河田勝臣氏、植和田英子氏、菱田繁政氏
(瀧本氏、南氏、河田氏、菱田氏は同組合岡田下支部。植和田氏は薬師口支部)

なお、8月25日(火)～28日(金)に静岡市で全国茶品評会が開催され、本市からも多数出品予定。

《農林課》

子育て交流施設の愛称 「あそびあむ」に決定



4月に開設した子育て交流施設の愛称が「あそびあむ」に決まりました。市民の皆さんに親しまれる施設となるよう愛称を募集し、295点の中から厳選した7点による投票で決定。

愛称の「あそびあむ」には、遊びのフィールドやステージとなる「遊びのスタジアム」をイメージし、子どもも大人も楽しめ、「本気になって遊べる施設」との思いが込められています。

《子ども支援課》

田井地区の孤立を想定 巡視船「わかさ」などで海上避難訓練



7月11日、田井地区が土砂崩れにより孤立したとの想定で海上からの住民避難訓練を実施。

田井地区の住民の皆さんなどが、田井漁港で舞鶴海上保安部の巡視船「わかさ」や巡視艇「あおい」に乗船し、京都舞鶴港西港第3ふ頭まで海上から避難。また、舞鶴警察署の警察艇「ゆら」も海上から田井漁港に接岸し、警察署員が上陸。現地にいた消防職員とともに孤立住民の避難誘導などを行いました。

《危機管理・防災課》

舞鶴から京都まで約70分

京都縦貫道が全線開通

京都の南北を結ぶ京都縦貫自動車道が、着工以来34年の歳月をかけ7月18日14時に全線開通しました。総工費は約9,000億円。宮津天橋立IC～久御山ICの約100kmを結びます。これで舞鶴市から京都市内への交通の便が改善。市としても観光誘客や港の物流拠点としての機能強化が図られ、地域経済の活性化が期待されます。

また、7月12日には京丹波パーキングエリア周辺でイベントも開催され、新たに開通した道路を約4,000人がウォーキング。道路から下に見える町並みなどを楽しんでいました。

《国・府事業推進課》

